

基本方針6 市民参加型の環境活動(地域振興計画を生かす)

基本施策1 地域振興計画の中の環境行動

1 現状と課題

本市は、平成26年度までに8つ(平成27年度には9つ)の地区で地域振興計画を策定しています。その中で環境に関する事項も活発に議論されており、市民の環境に関する意識の高さが表れています。

地域振興計画は、各地区の特性を生かした環境に係る行動計画も多くみられ、また、先述した、空き家の利用、錦江湾クリーンアップ作戦への参加、大野ESD自然学校活用の推進、教育旅行の受入れといった事項は各地区共通して計画されています。

せっかく、地域の人たちが時間を割いて議論し、策定した計画が無駄にならないよう、本計画が地域振興計画を補完する意味で、市・市民・事業者が協働で地域振興計画を実行していくことが大切です。

【各地域振興計画の中の環境に係る行動①】

地区	環境に係る行動計画(抜粋)	行動計画に対する具体案
大野	現在の自然学校の地域との連携をさらに深め、今後も運営を継続する。	
	高峠公園を整備・管理する。	コスモスの復活、紅葉樹の植栽等を実施する。
	降灰対策としてビニールハウスを導入する。	
	空き家を活用する。	空き家バンク制度を確立する。
	猿ヶ城～垂桜連絡道を整備する。	
水之上	猿ヶ城での遊泳を可能にする。	
	本城川を活用する。	堤防の整備、堤防・河川の草木を除去する。
	空き地を利用する。	
	水之上地区公民館(三和センター)を避難所として充実させる。	非常食・衣服等を整備し、防災マップを作成する。
	猿ヶ城溪谷森の駅たるみずを整備し、利用を促進する。	猿ヶ城温泉を有効活用する。
	文化財の散策ができるよう環境を整備する。	水之上おさんぽマップを作成する。 千本いちょうを活用する。
	地域の自然を生かした環境づくりをする。	花の種蒔き、ホタルの鑑賞会を実施する。
牛根	牛根中学校跡地を有効活用する。	校舎、運動場、体育館をイベント会場や集会場として利用する。
	空き家を活用する。	空き家バンク制度を確立する。
	環境を保護する。	植栽を実施する。 松崎川遊歩道の整備及び魚道整備を検討する。
新城	空き家対策をする。	空き家を調査しデータベース化する。
	住環境の整備をする。	ごみ分別とリサイクルを推進する。 河川堤防、道路を美化する。
	「おたけどん」を大事にする。	おたけどん一帯に植栽をする。 おたけどんまでの遊歩道を整備する。

【各地域振興計画の中の環境に係る行動②】

地区	環境に係る行動計画(抜粋)	行動計画に対する具体案
松ヶ崎	住みやすいまちにする。	空き家を有効活用し、移住者を受け入れる。 教育旅行・民泊の受け入れ家庭を増やす。
	美しいまちにする。	道の駅、公民館周辺を定期的に清掃する。 貸出用ロードスノーパーを導入し、通学路などの降灰を除去する。
	魅力あるまちにする。	海釣り公園を建設する。 史跡ガイドを導入する。
	鉄道跡地を活用する。	花を植栽する。
柘原	花が咲き誇るきれいなまちにする。	花の種類、植栽時期の計画を立案する。 鉄道跡の桜を管理し、花見の名所とする。
	人が集う浜にする。	錦江湾クリーンアップ作戦への参加を推進する。
境	ゴミ分別を徹底する。	ゴミ分別を教え合う体制をつくる。
	空き地、公園をきれいにする。	バリアフリーのトイレを作るなどの整備をする。
	空き家対策をする。	空き家バンク制度を確立する。
	境川をきれいにする。	堆積土砂を除去する。 魚道を設置する。
	海岸をきれいにする。	砂浜に魚介類が生息できるようにする。
協和	空き家対策をする。	空き家バンク制度を有効活用する。
	海潟さくら公園を魅力的な公園にする。	
	なぎさ荘周辺の美しい景観を取り戻す。	地域ボランティアできれいにする。
	協和中学校跡地を有効活用する。	ボランティアで草取りや灰取りをする。
	海潟温泉を活用する。	温泉マップ等を作成してアピールをする。

2 施策の基本的方向

地域振興計画の環境行動の実現を目指します。

◆指標及び数値目標

地区	実現を目指す環境行動
大野	現在の自然学校の地域との連携をさらに深め、今後も運営を継続する。
水之上	本城川堤防の整備、堤防・河川の草木を除去する。
牛根	植栽を実施する。
新城	空き家を調査しデータベース化する。
松ヶ崎	教育旅行・民泊の受け入れ家庭を増やす。
柘原	錦江湾クリーンアップ作戦への参加を推進する。
境	砂浜に魚介類が生息できるよう、海岸をきれいにする。
協和	温泉マップ等を作成して海潟温泉をアピールをする。

3 主体別の取組

(1) 市の取組

- 地域振興計画策定会議に市職員も参加します。
- 地域振興計画の環境行動が実現できるよう支援します。

(2) 市民の取組

- 今後も地域振興計画策定会議に積極的に参加します。
- 地域振興計画の環境行動が実現できるよう努めます。

(3) 事業者の取組

- 地域振興計画策定会議に事業者の立場から意見・提案します。
- 地域振興計画の環境行動が実現できるよう支援します。



鹿児島大学演習林の散策
(大野 ESD 自然学校)



スポーツ灰取りの様子



地域振興計画策定の様子

写真 垂水市

錦江湾クリーンアップ作戦

「錦江湾クリーンアップ作戦」は、錦江湾岸地域の環境保全を図るため、広く県民に参加を呼びかけながら、湾岸地域が一体となって湾岸清掃に取り組む活動で、毎年夏と秋の2回実施しています。

秋の部は、「国際海岸クリーンアップキャンペーン」協賛事業として、ごみの実態調査も併せて実施しています。

夏の部(H22は口蹄疫,H25は天候悪化により中止)

年	H22	H23	H24	H25	H26
人数	—	3,096人	2,972人	—	2,489人
実施日	—	7月24日	7月15日	—	7月6日
収集したゴミの量	—	48,600kg	12,420kg	—	19,800kg
場所	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域	市内全域

秋の部

年	H22	H23	H24	H25	H26
人数	205人	87人	73人	57人	35人
実施日	10月16日	10月23日	10月13日	10月19日	10月18日
収集したゴミの量	300kg	100kg	80kg	60kg	60kg
場所	浜平海岸	柘原海岸	二川海岸	新城海岸	二川海岸

◆国際海岸クリーンアップキャンペーン

平成2(1990)年から日本でも始まった地球市民の手による海岸漂着散乱ごみの回収調査活動。得られた結果は、発生原因を客観的に考え、ごみを元から絶つための改善に向けた提言や行動に生かされます。毎年100か国前後の国と地域で行われており、平成24(2012)年の活動では、102か国から56万人以上のボランティアが参加し、約28,000kmの海岸から約4,500トンのごみを回収しました。



錦江湾クリーンアップ作戦の様子

写真 垂水市